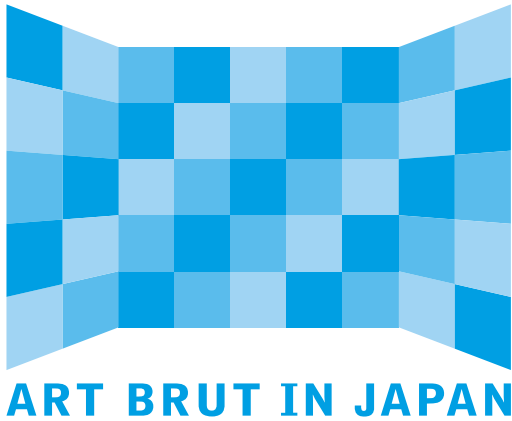


報道担当 各位



多様な主体との共働による
アール・ブリュット
魅力発信事業

NEWS LETTER (報道資料)

VOL.1 2014年1月9日(木) 発行

このニュースレターでは、本事業の最新リリースや、今後開催されるイベントの注目ポイントなどについてお知らせします。

本事業や各イベントの詳細につきましては、同日発表「全体概要 第2版」を参照ください
(下記 URL に PDF 形式で公開しております)。

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (設置者：社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団)

滋賀県

近江八幡市

一般社団法人 近江八幡観光物産協会

NPO法人 はれたりくもったり

アール・ブリュットネットワーク

滋賀県施設合同企画展実行委員会

本事業に関するお問合せ (広報窓口)

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局 (滋賀県社会福祉事業団 企画事業部)

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

電話：0748-46-8100 (担当：川那辺、平日10:00~17:00) メール：kikaku@sisyazi.jp

この資料は、こちらの URL に「全体概要」とあわせて公開しています。 <http://www.no-ma.jp/filearchives.html>



2014年3月、滋賀県近江八幡市の伝統的建造物群界隈で開催する、
大規模なアール・ブリュット展「アール・ブリュット☆アート☆日本」 予告情報

速報

日比野克彦さんと澤田真一さん、 そして台湾のアール・ブリュット作家による コラボレーション展示が決定

2014年3月1日 (土) から近江八幡市の重要伝統的建造物群保存地区一帯で行われるエリア周遊型アートイベント「アール・ブリュット☆アート☆日本」の特別展示で、アーティストの日比野克彦さん、滋賀県出身のアール・ブリュット作家である澤田真一さん、台湾のアール・ブリュット作家である林瑋萱さんによるコラボレーション展示を行うことが決定しました。

日比野克彦さんは、各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたアートプロジェクトを多く行っています。2012年に設立された「アール・ブリュット ネットワーク」では発起人の一人となり、アール・ブリュットの魅力発信にも尽力されています。今展覧会では、ポードレス・アートミュージアムNO-MAの展示構成も行っていただきます。

滋賀県出身のアール・ブリュット作家である澤田真一さんは、昨年「美術の五輪」と評される「第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」に出展され、いま世界中の注目を集めているアーティストです。



日比野克彦さん
© Mitsuru Goto

そして林瑋萱さんは、滋賀県アール・ブリュット推進事業 (全国・アジア地域作品調査研究) をきっかけにつながりが生まれた台湾のアール・ブリュット作家です。2011年度から滋賀県とポードレス・アートミュージアムNO-MAでは、近隣のアジア地域のなかから特に関心の高い「台湾」での取り組みについて作品調査を行い、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図るとともに、こうした動きをアジア地域にも広げる活動を展開しており、そのなかで生まれたコラボレーションになります。

「アール・ブリュット☆アート☆日本」は2014年3月1日 (土) から23日 (日) まで、近江八幡市の重要伝統的建造物群保存地区一帯で行われ、近江八幡の歴史的な町並み散策とともに、アール・ブリュットの魅力をお楽しみいただける、エリア周遊型のアートイベントです。イベントのより詳しい情報については、1月下旬に同ニュースレターにて発表する予定です。

■ 日比野 克彦さん プロフィール

アーティスト／東京藝術大学美術学部教授

- 1958年 岐阜県生まれ
- 1984年 東京藝術大学大学院卒業
- 1995年 ヴェネチア・ビエンナーレ 出展
- 2003年～ 越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭「明後日新聞社文化事業部」
- 2007年 金沢21世紀美術館「ホーム→アンド←アウェー」方式
- 2008年 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展
「飛行する記憶～記憶は創造を呼び起こす～」出展
- 2010年～ 瀬戸内国際芸術祭「海底探査船美術館プロジェクト 一昨日丸」
- 2012年 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 総合プロデューサー
- 2013年～ 六本木アートナイト アーティストティックディレクター
- 2013年 「Hibino on side off side 日比野克彦」展(川崎市岡本太郎美術館)

【主な役職】

- 2013年 平成25年度 文化庁・厚労省共催
障害者の芸術活動への支援を推進するための懇談会委員
- その他 日本サッカー協会理事
福島芸術計画×ASTT2012フラッグシップ・アーティスト

■ 「アール・ブリュット☆アート☆日本」について

(「全体概要」第2版 17ページを参照ください。詳細は1月下旬に同ニュースレターにて発表予定です)

揺るぎのない「私の中にしかない私だけの世界」を見る者に気付かせてくれるアール・ブリュットの作家たち。日常生活に密接したかたちで生まれるアール・ブリュットの作品。その魅力は、福祉、医療、美術といった分野の領域を超えて、今、大きな注目を集めています。今展では、開館10年目を迎えるボーダレス・アートミュージアムNO-MAを拠点に、近江八幡の町屋など8会場にて、36作家、約500点からなる日本のアール・ブリュットの祭典を開催いたします。

また台湾の作品も特別出展し、日本そして台湾のアール・ブリュットを発信します。詳細は、1月下旬に同ニュースレターにて発表する予定です。

会期 : 2014年(平成26年)3月1日(土)～23日(日)

休館日 : 月曜日

開館時間 : 10:00～17:00

会場 : 近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区の下記8施設

- ・ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
(滋賀県近江八幡市永原町上16 [旧野間邸])
- ・カネ吉別邸 (為心町元)
- ・旧吉田邸 (多賀町758)
- ・奥村邸 (永原町8)
- ・まちや倶楽部 (仲屋町中21)
- ・かわらミュージアム (多賀町738-2)
- ・旧八幡郵便局 (仲屋町中8)
- ・尾賀商店 (永原町中12)



近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区
(写真提供：近江八幡観光物産協会)

出展者 : 36作家

作品数 : 約500点

アーティストック・アドバイザー: 保坂 健二郎 (東京国立近代美術館 主任研究員)

入館料 : ①全館共通パスポート 前売り (1月15日~2月28日まで発売) 700円、当日券1,000円
②一館のみのチケット 当日券のみ300円 (かわらミュージアムのみ600円 (常設展観覧料含む))
①②いずれも、中学生以下、障害のある方と付添者1名無料

前売券発売所: チケットぴあ電話予約 0570-02-9999 Pコード 766-031
チケットぴあインターネット <http://pia.jp/t/> (※PC・携帯電話共通)
チケットぴあ店頭販売: チケットぴあ店舗/セブン-イレブン/サークルK/サンクス

当日券発売所: チケットぴあ (上記参照)
ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
旧八幡郵便局
一般社団法人 近江八幡観光物産協会 (白雲館)

主催 : アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

後援(予定) : 滋賀県教育委員会、近江八幡市教育委員会

協力(予定) : 近江八幡まちや倶楽部、尾賀商店、株式会社まっせ、株式会社カネ吉ヤマモトフーズ、株式会社ケレスたなか、まちづくり近江八幡 (かわらミュージアム指定管理者)、酒遊館、滋賀県立大学人間文化学部デザイン学科佐々木一泰研究室、同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科井口研究室、特定非営利活動法人ヴォーリス建築保存再生運動一粒の会、NPO法人しみんふくし滋賀、八幡酒蔵工房、NPO法人工房あかね、滋賀県立精神医療センター、(社福)大木会 もみじ・あざみ、(社福)かんな会 かんなの里、(社福)恵庭光風会 多機能型事業所 光と風の里 恵み野西、(社福)湖北会 湖北まこも、(社福)しがらぎ会 信楽青年寮、(社福)にじの会「にじアート」、(社福)みぬま福祉会 川口太陽の家 工房集、すずかけ絵画クラブ、(社福)やまなみ会 やまなみ工房、(社福)光林会るんびにい美術館

特別協力 : 株式会社HIBINOSPECIAL、台湾身心障礙藝術發展協會-光之藝廊、台北市立大学・視覚藝術研究所 蘇 振明教授



2014年2月、大津プリンスホテル（滋賀県大津市）で開催する展覧会
「アール・ブリュット ランドスケープ」 注目の見どころ

台湾での作品調査で出会った作品も数多く登場 日本初出展となる作品など壮観な展示で、 アール・ブリュットの「今」を一望します

2014年2月7日（金）から9日（日）まで大津プリンスホテルで開催する「アール・ブリュット ランドスケープ」展は、日本と台湾のアール・ブリュットの「今」を一望することをコンセプトに据えています。

展覧会の見どころとして、滋賀県とボーダレス・アートミュージアムNO-MAによる「滋賀県アール・ブリュット推進事業（全国・アジア地域作品調査研究）」で2011年、2012年に調査した、台湾のアール・ブリュット作品の展示を行います。近隣のアジア地域のなかから特に関心の高い「台湾」での取り組みについて作品調査を行い、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図るとともに、こうした動きをアジア地域にも広げることが目的とした事業で、今回の展示はその一成果でもあります。

台湾作品の出展にあたっては、台湾身心障礙藝術發展協會（台中市）が運営する展示施設「光之藝廊」（Arts Development of Taiwan with Disabilities- Luminance Art Space）や、台北市立大学・視覚藝術研究所で近現代の美術史を研究されている一方、教育の機会に恵まれなかった時代の農民や漁師、炭鉱労働者などが制作した作品について収集・研究されている 蘇 振明 教授の協力のもと、実現しました。日本初出展となる作品も多く展示予定です。

日本のアール・ブリュット作品では、古久保憲満さんのなんと幅約10メートルにおよぶ大規模な作品展示なども行い、魅力あふれる展覧会をお楽しみいただきます。



「光之藝廊」外観



蘇振明教授

■「アール・ブリュット ランドスケープ」について (「全体概要」第2版 14ページを参照ください)

私たち人間には個々に宿る目に見えない無数の可能性や力が隠されています。アール・ブリュットの作家たちはつくることの原点にたち、人間の大きい創造の可能性をカタチにします。近年、日本のアール・ブリュットは国内外で多くの展覧会が開催されるなど高い関心を集めています。

今展では、第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に出展した澤田真一の作品を展示するほか、一昨年から調査を続けてきた台湾の作品を展示します。日本と台湾のアール・ブリュット作家の作品を広く紹介し、両国のアール・ブリュットの今を一望する旅にご案内します。

会期 : 2014年2月7日(金)～9日(日)の3日間、9:00～21:00 (最終日は15:00まで)

会場 : 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 8, 9 (滋賀県大津市におの浜四丁目7-7)

観覧料 : 500円 ※小学生以下、障害のある方と付添者1名 無料、アメニティーフォーラム18参加者は無料

主催 : アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

共催 : 第18回アメニティーフォーラム実行委員会
NPO法人全国地域生活支援ネットワーク

特別協力: 社会福祉法人愛成会

台湾身心障礙藝術發展協會-光之藝廊 (Arts Development of Taiwan with Disabilities- Luminance Art Space)

台北市立大学・視覚藝術研究所 蘇 振明 教授

※ アメニティーフォーラムについて

障害者の地域生活を推進していくための全国的なネットワークを作ることを目的に、毎年2月に滋賀県大津市で行われているフォーラムです。全国から1500人を超える人たちが参加し、今年で18回目を迎えます (主催: 第18回アメニティーフォーラム実行委員会、NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)。

アメニティーフォーラムについての詳細はこちらのウェブサイトを参照ください。

<http://blog.canpan.info/shien-net/>



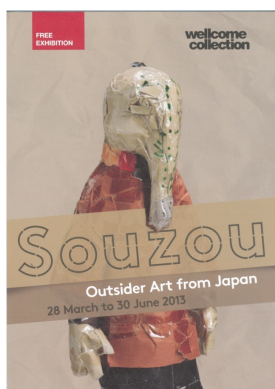
2012年度に開催された「アメニティーフォーラム17」同時開催企画「ART BRUT ART BRUT ～ポダレス・アートミュージアムNO-MAの作品調査から～」の様子



2014年2月、大津プリンスホテル（滋賀県大津市）で開催する展覧会
「アール・ブリュット ランドスケープ」 関連イベント 注目の見どころ

ウェルカム・コレクション館長ケネス・アーノルド氏が来日 イギリスで大成功を収めた日本のアール・ブリュット展が 与えた影響を語ります

2月7日(金)

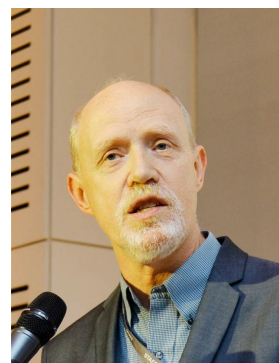


「Souzou」展ポスター

2013年3月28日～6月30日まで、アール・ブリュットのヨーロッパ巡回展「Art Brut from Japan (海外名称: Outsider Art from Japan)」の一環としてイギリス・ロンドンで開かれた「Souzou: Outsider Art from Japan」展は、在英国日本大使館をはじめ各種メディアを通して大きく取り上げられ、会期中は約94,000人の方が来場し、美術関連の雑誌や批評サイトなどでも大変な好評を博しました。

イギリスで開催された大規模な日本のアール・ブリュット展について、主催者であるウェルカム・コレクション (Wellcome Collection) の館長ケネス・アーノルド (Kenneth Arnold) 氏や、日本側キュレーターを務めた小林瑞恵氏が振り返ります。

特にケネス・アーノルド氏の来日講演は貴重な機会となりますので、是非ご参加ください。



ケネス・アーノルド氏

東京国立近代美術館の主任研究員 保坂健二郎氏が 「アール・ブリュット 元年」と題して アール・ブリュットの「今」を講演します

2月7日(金)

■「アール・ブリュット ランドスケープ」関連イベントについて（「全体概要」第2版 14ページを参照ください）

開催日 : 2014年2月7日 (金)

場所 : 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 10

入場料 : (展覧会チケットでご入場いただけます)

500円 ※小学生以下、障害のある方と付添者1名 無料、アメニティーフォーラム18参加者は無料

プログラム : 15 : 15~15 : 40 報告「ヨーロッパ巡回展 Art Brut from Japan -日本のアール・ブリュットの海外での動向-」
小林 瑞恵 (社会福祉法人愛成会 アートディレクター)

15 : 45~16 : 45 記念講演「Art Brut Japan 日本のアール・ブリュットがイギリスに与えた影響」
Kenneth Arnold [ケネス・アーノルド] (ウェルカム・コレクション館長/イギリス ロンドン)

16 : 55~17 : 20 告知「NO-MA境界での『アール・ブリュット☆アート☆日本』」
藁戸 さゆみ (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 学芸員)

17 : 25~17 : 50 報告「造形活動に必要な支援とは？」

齋藤 誠一 (滋賀県社会福祉事業団 企画事業部 アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター 主任アドバイザー)

18 : 00~19 : 00 講演「アール・ブリュット 元年」

保坂 健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)

第2回公開研究会を開催、アール・ブリュットの魅力と 発信方法について、多面的に議論します

2月9日(日)

昨年末にピアザ淡海で開かれた第1回公開研究会に続き、第2回公開研究会を「アール・ブリュット ランドスケープ」展にあわせて開催します。第2回では「発信すべきアール・ブリュットの魅力」とは何かについて意見交換を行います。多様な主体によるアール・ブリュット関連の取り組み事例について関係者から発表していただき、その独自性や課題、さらに効果的な発信方法について議論していきます。



第1回公開研究会の様子

この公開研究会はアール・ブリュット発信における効果的な方法や可能性について、美術・福祉・教育・まちづくりなど各方面で活躍する研究員とともに、多面的な視点で検証・議論していくことを特徴としています。講演会のように来場者に語りかけるという場ではありませんが、アール・ブリュットの魅力やその発信のあり方について理解を深めていただく貴重な機会となります。取材も可能ですので、お気軽にお越しください。

■「第2回公開研究会」について（「全体概要」第2版 21ページを参照ください）

開催日時 : 2014年2月7日 (金) 10 : 00~13 : 00

場所 : 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 10

入場料 : 無料

研究員(五十音順) : アサダワタル (日常編集家)、近藤隆二郎 (滋賀県立大学教授)、末安民生 (日本精神科看護技術協会 会長)、竹内 厚 (Re:S 編集者)、鳥井 新平 (近江兄弟社小学校 教諭)、早川 弘志 (社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房 主任支援員)、山口 真有香 (滋賀県立近代美術館 学芸員)